

2016年2月12日

報道関係者各位

〒980-8511 仙台市青葉区土樋 1-3-1  
法人事務局広報部広報課

E-Mail koho@tohoku-gakuin.ac.jp

電話 022-264-6423 / FAX 022-264-6478



2016年 東北学院は創立130周年を迎えます

東日本大震災5年緊急シンポジウム

霊性を読み解く - タクシーの幽霊現象の反響と課題

2月24日(水) 15時から

本学教養学部教授金菱清教授のゼミ生がまとめた論考集『呼び覚まされる霊性の震災学 — 3.11 生と死のはざままで』(新曜社刊)は、2月に店頭で並ぶなり売り切れ続出、現在増刷中とのことです。ことは、1月20日付の朝日新聞紙上でこの本が紹介され、ひとりの学生の論考が紹介されたことにより店頭で並ぶ前から話題となりました。

この反響に、金菱教授(とゼミ生)のもとには様々なメディアからの取材依頼が殺到しています。これらの事象に応えるため、この度、東北学院大学「震災学」編集検討委員会の主催により、主に報道関係者を対象としたミニシンポジウムを緊急開催することにいたしました。

金菱教授の解題を足掛かりに、宗教学者、住職、編集者、そして当の論考をまとめたゼミ学生の報告をもとに2時間30分のシンポジウムを予定しています。マスコミ・報道関係の皆さまにも今後の震災関連取材の端緒となるやも知れません。ぜひ聴講方各社の取材をお願いいたします。

## 記

東日本大震災5年緊急シンポジウム

「霊性を読み解く - タクシーの幽霊現象の反響と課題」

2016年2月24日(水) 15:00-17:30 (14:30開場)

主催 東北学院大学「震災学」編集検討委員会

【入場無料】当日直接おいでください

東北学院大学土樋キャンパス8号館5階 押川記念ホール

〒980-8511 仙台市青葉区土樋1丁目3-1

\*駐車場はございませんので最寄りの公共交通機関をご利用ください

※報道機関の取材来場の際は事前に広報課まで申し込みをお願いいたします。

広報部広報課 担当：内海

022-264-6423

koho@tohoku-gakuin.ac.jp

# 東日本大震災5年緊急シンポジウム

## 「霊性を読み解く-タクシーの幽霊現象の反響と課題」

2016年2月24日(水) 15:00-17:30 (14:30開場)

東北学院大学土樋キャンパス8号館3階 第1・2会議室

【入場無料】当日直接おいでください

〒980-8511 仙台市青葉区土樋1丁目3-1

\*駐車場はございませんので最寄りの公共交通機関をご利用ください



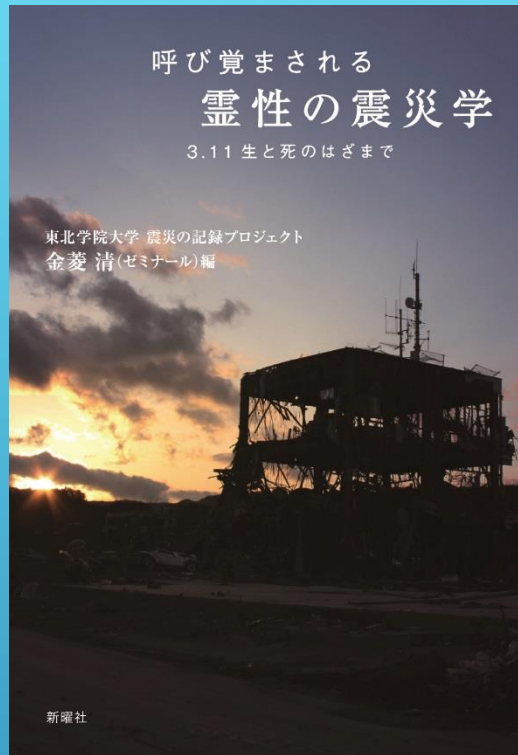
東日本大震災発生から5年がまもなく経つ。各地で幽霊現象の目撃談が震災後相次いだ。それに対して、学問分野では科学的ではないとしてその現象を横目にそのような現象をどう読み解いたらよいかの二の足を踏んでいた。ところが、金菱ゼミ編の「呼び覚まされる霊性の震災学」の一環として、幽霊の記事が朝日新聞のデジタル版として配信されると、多くの読者がリアリティをもってそれを受け取り、3日間でFacebookで1万8747件のシェア、twitter上でも夥しい数の反響があった。中には予想通り科学的でないという一部炎上する事態に陥った。さらに一部はイギリスで記事になったりロシア語にもなって世界に配信された。

総じてみると、幽霊の調査地域の反応はいたって普通の受け止め方であった。すなわち、経験した人はここでは普通だといひ、経験していない人でもありうるといふ風に受けとめている。津波に攫われ行方不明者を多く出したことは、今回の震災の大きな特徴のひとつである。彼岸とも此岸とも居場所の定まらない、括弧付きの「死者」なのである。

ポーリン・ボスは「さよなら」のない別れ、別れのない「さよなら」という形で、通常の葬式をやって死者を彼岸に送る明確な喪失に対して、『あいまいな喪失』と名付けた。私たち被災地にある大学は、このあいまいな喪失の向こう側で発生している幽霊の現象ひいては霊性をどのように読み解くことができるだろうか？

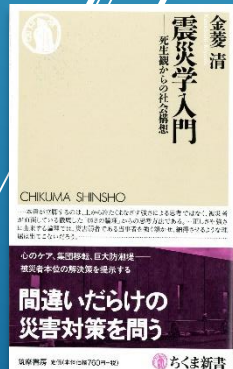
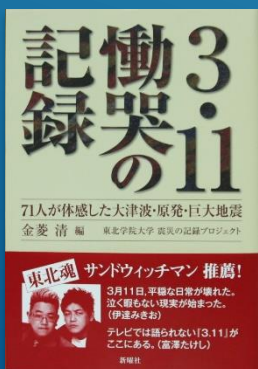
単なるオカルト的な反応や批判に終わるだけでなく、死者とどのように向き合うのかということがまさしく学的知と実践知として問われている。

復興など、これまでどう生きるかという生きる側からだけしか取り上げられてこなかった震災を、生死のはざままで呼応する次のいのちの根源的な働きという霊性にまでおりたち、できれば従来の宗教観を超えるような東日本大震災の正体に迫ってみたい。



### ○パネラー

- ・工藤 優花(くどう ゆか)氏 東北学院大学4年
  - ・土方 正志(ひじかた まさし)氏 (有)荒蝦夷代表
  - ・金田 諦應(かねた たいおう)氏  
「カフェ・デ・モンク」マスター  
通大寺住職
  - ・鈴木 岩弓(すずき いわゆみ)氏  
東北大学大学院文学研究科教授・  
宗教学
- ※コーディネーター
- ・金菱 清(かねびし きよし)氏  
東北学院大学教養学部  
地域構想学科教授



# 東日本大震災5年緊急シンポジウム

## 「靈性を読み解くータクシーの幽霊現象の反響と課題」

2016年2月24日(水) 15:00-17:30 (14:30開場)

東北学院大学土樋キャンパス8号館3階 第1・2会議室

### ◎プログラム

- ・14時30分 開場
- ・15時00分 開会・挨拶 (佐々木俊三学長特別補佐)
- ・15時05分 報告趣旨説明 (金菱清)
- ・15時10分 各20分報告  
工藤氏、金田氏、土方氏、鈴木氏
- ・16時30分 休憩
- ・16時40分 パネルディスカッション
- ・17時10分 質疑応答
- ・17時30分 閉会



◎金田諦應 氏  
「カフェ・デ・モンク」  
マスター 通大寺住職

1956年、宮城県栗原市生まれ。通大寺住職、移動式傾聴喫茶「カフェ・デ・モンク」マスター。駒澤大学人文科学研究科仏教学修士課程修了後、大本山永平寺での修業を経て通大寺住職となる。東日本大震災直後に「カフェ・デ・モンク」を立ち上げ、被災地での活動を展開。「心の相談室」共同代表、東北大学実践宗教学寄附講座諮問委員会委員。



◎鈴木岩弓 氏  
東北大学大学院文学研究科教授  
宗教学

1951年、東京生まれ。東北大学文学部卒業後、同大学院博士前期課程、後期課程を経て島根大学助手。同講師・助教授を経て、東北大学文学部助教授に。現在、東北大学大学院文学研究科教授。専門は宗教民俗学。死生観・民間信仰概念の展開・流行神の形成過程などに関心をもつ。震災翌年度から研究科内に設置された、実践宗教学寄附講座の主任を兼務。



◎土方正志 氏  
(有)荒蝦夷代表

1962年、北海道ニセコ町生まれ。有限会社荒蝦夷代表。東北学院大学卒業。フリーライター／編集者を経て2005年に同社設立。著書に『ユージン・スミス楽園へのあゆみ』(偕成社、第41回産経児童出版文化賞受賞)、『震災編集者』(河出書房新社、2016年2月刊行)など。荒蝦夷は震災後の出版活動により2011年度梓会第8回新聞社学芸文化賞を受賞。



◎工藤優花 氏  
東北学院大学教養学部  
金菱ゼミ4年

1993年、秋田県生まれ。東北学院大学教養学部言語文化学科4年在籍。金菱ゼミ生として、今回の『呼び覚まされる靈性の震災学』のフィールドワークに参加し、石巻地域で100人以上のタクシードライバーに取材を行いまとめた。本書では第一章を飾っている。



◎金菱 清 氏 東北学院大学教養学部地域構想学科教授  
※コーディネーター

1975年、大阪生まれ。東北学院大学教養学部地域構想学科教授  
専門は災害社会学。『呼び覚まされる靈性の震災学』(新曜社)  
『震災学入門』(ちくま新書)『震災メメントリ』(新曜社)  
『千年災禍の海辺学』(生活書院)など多数。